

# 西浦田楽の演目に関する文献の内容検索を可能にする デジタルアーカイブの試作

森 ヒロユキ (静岡大学 情報学部)

彦坂 和里 (静岡大学 創造科学技術大学院・名古屋文理大学)

杉山 岳弘 (静岡大学 創造科学技術大学院)

**概要:** 本研究では、国指定重要無形民俗文化財「西浦の田楽」の演目に関する記述がされている文献の比較検証を支援することを目的とする。そのために、西浦田楽の演目に関する文献とその内容をまとめて検索・閲覧し、比較検証ができるデジタルアーカイブの制作を目指し研究を進めている。複数文献の比較検証には、Miradorの持つ機能を利用する。本稿では、利用者による文献や演目に関する情報の比較検証支援に有効だと考えるデジタルアーカイブの概要を仕様/設計/実装に分けて述べ、試作を行っているデジタルアーカイブの制作状況を述べる。

**キーワード:** 西浦田楽, 民俗芸能, デジタルアーカイブ, IIF, Mirador

## A Prototyping Digital Archive which can search by contents of literature about the program of “Nishi-ure Dengaku”

Hiroyuki Mori (Faculty of informatics, Shizuoka University)

Airi Hikosaka (Graduate School of Science and Technology, Shizuoka University・Nagoya Bunri University)

Takahiro Sugiyama (Graduate School of Science and Technology, Shizuoka University)

**Abstract:** “Nishi-ure Dengaku” is an important intangible folk cultural asset. The objective of this study is to prototype a digital archive which can search and view literature about the program of “Nishi-ure Dengaku” collectively and support compare and verification of it. For comparison and validation of several literature, we will use the Mirador’s functions. In this paper, we describe an overview (specification/design/implment) of the digital archive and a current progress about prototype of the digital archive.

**Keywords:** Nishi-ure Dengaku, traditional folk entertainment, digital archive, IIF, Mirador

### 1. はじめに

本研究では国指定重要無形民俗文化財「西浦の田楽(以降、西浦田楽)」を研究対象とする。西浦田楽と同じ無形文化財(民俗芸能)のデジタルアーカイブとして、「秋田民俗芸能アーカイブス」[1]や「能代市民俗芸能アーカイブ」[2]、「無形文化財デジタルアーカイブ もうひとつの京都」[3]などが存在するが、これらのデジタルアーカイブでは当時の民俗芸能を記録した写真や動画を公開するにとどまり、研究資料といったその他の資料を閲覧することができない。また、秋田民俗芸能アーカイブス[1]や能代市民俗芸能アーカイブ[2]では複数の年代の資料を閲覧することができず、特定の年代における民俗芸能がどのようなものであったかを知ることができない。そのため、複数年代にわたる記録資料や研究資料を、アーカイブ化を通して保存することは担い手不足などによる消滅の危機に瀕している民俗芸能にとって、大

きな意義を持つ。そして、それらの資料を、デジタルアーカイブを通して公開することで、民俗芸能の研究者や一次資料を多く持たない民俗芸能の関係者は特定の年代における民俗芸能がどのようなものであったかを知ることができる。加えて、複数年代の資料を閲覧することで、民俗芸能の年々の変化を見ることができ、新たな知見につながる可能性がある。そのため、複数年代にわたる民俗芸能の記録資料や研究資料をデジタルアーカイブで保存・公開することは、研究者あるいは一次資料を多く持たない民俗芸能の関係者にとって有意義であると考えられる。

西浦田楽では、文献調査を通して、演目に関する記述がされている文献において著者や年代によって記述に差異が存在することが確認されている[5]。例えば、図1は2017年に行われた「さお姫」と呼ばれる演目の様子である。この演目について記述がされている、年代と著者の異なる文献では表1のような差異が存在する。このことか

ら、複数の資料を閲覧することは、文献間の記述の差異または民俗芸能の年々の変化の発見、特定の年代における民俗芸能の姿を明らかにするための手がかりといった新たな知見につながる可能性があると考えられる。

そこで、本研究では、デジタルアーカイブの利用者による文献や演目に関する情報の比較・検証支援を行うことを目的とし、文献を演目やカテゴリ別に検索・閲覧でき、また同一画面上で複数の文献の演目に関する記述部分をまとめて閲覧できるデジタルアーカイブを試作する。また、文献が新たに出版された場合に、データを新しく追加していくことで、同様に文献の内容を閲覧できる仕組みの実装を試みる。



図1：さお姫の様子(2017/2/15撮影)

表1：文献の差異の例([5]より筆者作成)

早川(1930)	舞い手は <b>2人</b> しんたい面は <b>花の木</b> を持つ
山路(1964)	舞い手は <b>3人</b> しんたい面は <b>扇と花の木</b> を持つ
吉川(2012)	舞い手は <b>3人</b> しんたい面は <b>花の木</b> を持つ

## 2. 西浦田楽の概要と取り扱う文献

西浦田楽とは、静岡県浜松市天竜区水窪町にある西浦観音堂で約1300年もの間継承されている民俗芸能である。毎年旧暦1月18日の月の出から翌19日の日の出にかけて全47演目(旧暦で閏年にあたらぬ年は46演目)を奉納する(表2)。西浦田楽の演目は「地能」「はね能」の2種類に大別される。「地能」は33演目あり、演目の奉納順が決まっている。継承する能衆も決まっているが、病気等のやむを得ない事情でその能衆が舞うことが出来ない場合は他の能衆が担当することもある。「はね能」は12演目が該当し、担当能衆が決まっておらず、年によって舞手や奉納順が異なる。「はね能」のうち、「閏舞」は旧暦で閏年にあたる年のみ奉納される。残る2演目は「番外」とされ、「タイハイ」と「しづめ」が該当する[6]。

本研究では、西浦田楽に関する文献のうち、演目に関する記述のある文献(表3)をアーカイブ化の対象とする。なお、本研究における「演目に関する記述」は、演目の内容・使用道具・舞手の能衆の名前といった情報のうち、いずれかが記述されている文献を指し、表3における「ページ数」は西浦田楽の記述がされているページ数を指す。文献は演目が記述されているページのみを使用し、本研究で試作を行うデジタルアーカイブを公開する際には、適切な権利処理をしたのち公開を行う。また、文献収集は継続して行っており、著作権の切れた古い文献なども視野に入れている。

表2：演目一覧([4]より筆者作成)

地能					
No.	演目名	No.	演目名	No.	演目名
1	庭ならし	12	鶴の舞	23	種おり
2	御子舞	13	出休童子	24	桑とり
3	地固め	14	麦つき	25	糸引き
4	地固めもどき	15	田打ち	26	餅つき
5	劔	16	水な口	27	君の舞
6	劔もどき	17	種まき	28	田楽舞
7	高足	18	よなぞう	29	佛の舞
8	高足もどき	19	鳥追い	30	治部の手
9	猿の舞	20	殿舞	31	のた様
10	ほた引き	21	早乙女	32	翁
11	舟渡し	22	山家早乙女	33	三番叟
はね能					
No.	演目名	No.	演目名	No.	演目名
1	高砂	5	観音の御法楽	9	さお姫
2	しんたい	6	鞍馬天狗	10	野々宮
3	梅花	7	屋島	11	閏舞
4	惺々	8	山姥	12	辯慶
番外					
No.	演目名	No.	演目名		
1	タイハイ	2	しづめ		

表3：文献一覧

ID	著者(発行年)	文献(タイトル+収録+出版)	ページ数
1	新井恒易(1954)	西浦の田楽-静岡県磐田郡水窪町、伝統芸能講座第4巻民俗芸能,河出書房	8
2	静岡県磐田郡水窪町史研究民俗学編(1958)	郷土芸能,西浦の田楽,水窪町教育委員会	35
3	田中勝雄(1961)	西浦田楽,静岡県芸能史,静岡県郷土芸能保存会	39
4	山路興造(1964)	遠州西浦の田楽—民俗芸能資料,民俗文化研究所紀要1集,民俗文化研究所	22
5	新井恒易(1970)	西浦観音堂の芸能,中世芸能の研究,新読書社	84
6	須藤功(1970)	西浦のまつり,未来社	114
7	早川孝太郎(1972)	西浦田楽,花祭後編,未来社	62
8	山路興造(1974)	遠州西浦の田楽,日本庶民文化史料集正第2巻田楽・猿楽,三一書房	49
9	須藤功(1979)	西浦田楽と宗教,講座日本の民族宗教6(宗教民俗芸能),弘文堂	16
10	石井一躬(1986)	西浦の田楽,季刊悠久第25号,鶴岡八幡宮社務所	8
11	高木英郷(1989)	西浦の田楽 鑑賞の手引き,水窪町協働センター	19
12	吉川祐子(2012)	西浦田楽の民俗文化論,岩田書院	275
13	京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター(2013)	西浦田楽-伝承の現在と未来-,京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター	29
14	櫻井弘人(2019)	西浦田楽-太陽と月、そして先祖への畏敬-,国立劇場第一三三回民俗芸能講演 春むかえ,田峯と西浦の田楽,日本芸術文化振興会	9

### 3. 本デジタルアーカイブの概要

本デジタルアーカイブは利用者による文献や演目に関する情報の比較・検証支援を行うことを目的とする。本研究にて試作を行うデジタルアーカイブの「仕様」と「設計」についてそれぞれ述べる。

#### 【アプリケーションの仕様】

- (1) 文献の検索機能：利用者が必要となる資料を見つけやすくするための機能が必要となると考える。そこで、「演目/カテゴリ(著者, 道具/衣装)/関連資料」で文献を探す機能を実装し, 利用者による文献の検索を補助する。西浦田楽の演目に関する記述がされている文献を検索する際, 著者名, 演目, 使用されている道具や衣装をもとに検索を行うと想定され, 検索項目をあらかじめ用意し提供することが文献の検索を補助するうえで有効的だと考えたため, 本研究の試作の段階ではクエリでの検索は実装せず, カテゴリ検索のみとする。
- (2) 複数文献の閲覧機能：複数の文献の内容をまとめて閲覧できる機能が必要となると考える。そこで, Mirador[7]を用いて同一画面上で複数の文献の内容をまとめて閲覧できる機能を実装し, 利用者による複数文献の比較・検証支援を行う。

#### 【データ設計】

本デジタルアーカイブにおける文献の検索機能, 複数文献の閲覧機能を実装するため, 演目情報データベースおよび IIIF manifest[8]の2つのデータを作成・使用する。それぞれの使用用途を図2のシステムブロック図に示す。

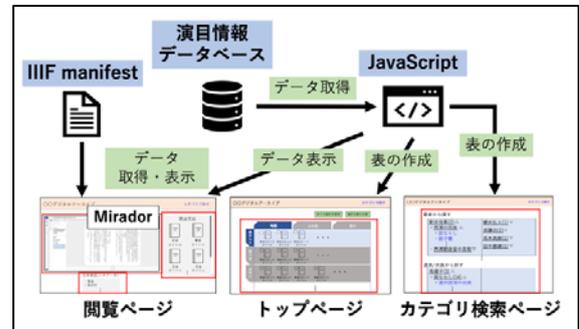


図2：システムブロック図

まず, 演目情報データベースについて, 表4にデータベースのデータ項目を示す。データ項目はデジタルアーカイブの制作をする上で必要なものを定義したものである。データ項目「ID」は各データの識別のために必要である。「演目種別」「演目名」は文献を演目ごとに検索するために必要である。「道具/衣装」は道具または衣装から文献を検索するために必要である。「著者(年)」は文献の著者と発行年を表示するために必要である。「タイトル」は文献のタイトルを表示するために必要である。

データ項目については, 「道具/衣装」は種類に応じて入力し, 「著者(年)」「タイトル」「リンク」については文献の数に応じて入力していく。

表4：データ項目

データ名	入力項目
ID	ID
演目種別	演目の種別(地能, はね能, 番外)
演目名	演目名(庭ならし, 御子舞…)
道具/衣装	道具または衣装(短槍, 襷…)
著者(年)	著者名と文献の発行年 (例: 田中勝雄(1961))
タイトル	文献のタイトル
リンク	文献を閲覧するための IIIF manifest のリンク

次に, IIIF manifest については IIIF Presentation API3.0[9]に準拠して作成する。メタデータ項目は Dublin Core[10]を参考に記述する(表5)。また, 文献の内容に対するアノテーションも記述する。なお, 文献に対してどのようなアノテーションを付与するのかは検討を行っている段階

である。

表5：文献に対するメタデータ

データ項目	説明
タイトル[Title]	文献名
作成者[Creator]	文献の著者名
発行年[Issued]	文献の発行年
出版社[Publisher]	文献の出版社名
ID[identifier]	識別子

【アプリケーション設計】

本研究にて試作を行うデジタルアーカイブは、トップページ(図3)と閲覧ページ(図4)、カテゴリ検索ページ(図5)の3つで構成される。本デジタルアーカイブで取り扱うのは西浦田楽の演目に関する記述がある文献に限定されているため、演目ごとに文献を検索できる機能を兼ねたトップページと、その他の検索機能としてカテゴリ(著者や道具/衣装)による検索機能を提供するカテゴリ検索ページを実装する。また、複数文献の比較検証の支援を行うために、文献の内容をまとめて閲覧できる閲覧ページを実装する。以下に、図3~5中の一部の機能について述べる。

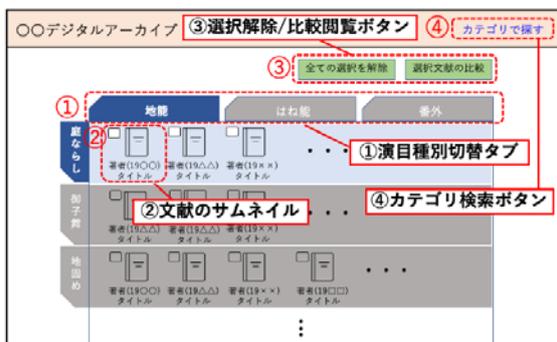


図3：トップページ画面レイアウト

- ① 演目種別切り替えタブでは、地能・はね能・番外の3つを設置し、クリックによって演目種別を切り替える。
- ② 文献のサムネイルでは、クリックすることで該当する文献の閲覧ページ(図4)へ遷移する。サムネイル画像の左上にはチェックボックスを配置し、複数選択をして④比較閲覧ボタンをクリックすることで比較閲覧する。
- ③ 選択解除ボタンでは、チェックの入ったチェックボックスを全てチェックされていない状態にする。比較閲覧ボタンでは、クリックすることで、チェックボックスにチェックの入っている文献を最大4つまで比較閲覧できる。

- ④ カテゴリ検索ボタンでは、カテゴリ検索ページ(図5)へ遷移する。

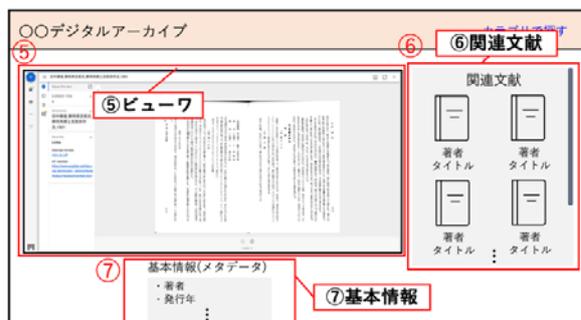


図4：閲覧ページ画面レイアウト

- ⑤ ビューでは、Miradorを用いて該当文献を閲覧する。該当文献の隣には、IIIF manifestに記述されている文献の基本情報やアノテーションが表示される。また、ビュー左上の「Add resource」ボタンから複数文献の内容をまとめて閲覧する。
- ⑥ 関連文献では、クリックすることでその文献を単体で閲覧する。
- ⑦ 基本情報では、文献の著者や発行年、ページ数といった文献の基本情報を表示する想定だが、具体的な情報は検討中である。

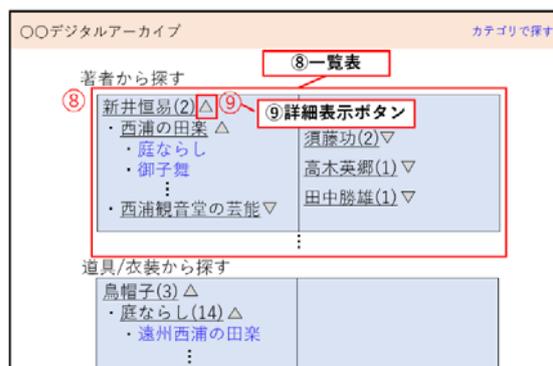


図5：カテゴリ検索ページ画面レイアウト

- ⑧ 一覧表では、著者または道具/衣装の一覧が表示される。著者の場合は該当する文献の数、道具/衣装の場合は該当する演目の数が項目の隣に数字で表示される。
- ⑨ 詳細表示ボタンでは、ボタンまたは著者名(道具/衣装)をクリックすることで、アコーディオンメニューを表示する。「著者から探す」の場合は、文献名が表示され、文献名またはボタンをクリックすることで、該当する文献内で記述のある演目の一覧がリンクとして表示され、リンクをクリックすることで該当部分の閲覧ページ(図4)

に遷移する。

「道具/衣装から探す」の場合は、ボタンまたは道具/衣装をクリックすることで、その道具または衣装を使用する演目が表示される。ボタンまたは演目名をクリックすることで、その演目について記述のある文献の一覧がリンクとして表示され、クリックすることで該当部分の閲覧ページ(図4)に遷移する。

#### 4. 本デジタルアーカイブの実装

本デジタルアーカイブの実装について、「データ作成」「アプリケーション開発」の流れで、それぞれに記述する。

##### 【データ作成】

表3に示した文献について、西浦田楽の演目の説明があるページについて、表4のデータ項目(表4)に従って演目情報データベース(CSVファイル)を作成する。次に、文献群の演目に関する記述されているページを画像化(JPEG形式)し、各文献の演目ごとに IIF manifest を作成する。

なお、画像ではなくテキストを入力して、自由文による検索を可能にすることも考えられるが、今回は、想定される検索項目を用いたカテゴリ検索機能を提供するため、画像化による方法を採用した。

##### 【アプリケーション開発】

作成した演目情報データベース(CSVファイル、以降 DB)、文献(画像)に対して作成した IIF manifest を用いて、アプリケーション開発を行う。

本デジタルアーカイブにおけるトップページは以下の流れ(図6)で処理を行う。基本的に、JavaScript で実装している。以下に、各図中の機能について説明していく。

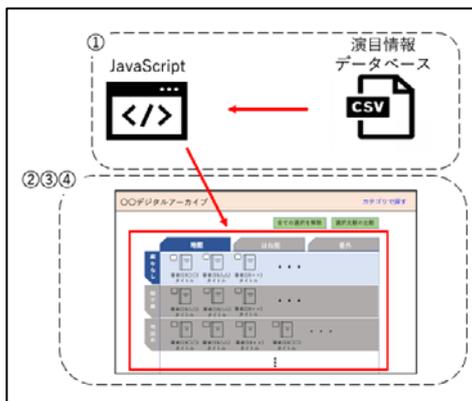


図6：トップページ処理の流れ

- ① 演目情報データベースを読み込む。
- ② データベースに記述されているデータをもとに、タブによる切り替えが可能な表を作成してブラウザに表示する。
- ③ データベースを参照し、各演目に該当する文献を表示する。
- ④ 文献のサムネイルにデータベースに記述されている IIF manifest のリンクを設置する。続いて閲覧ページでは、以下の流れ(図7)で処理を行う。

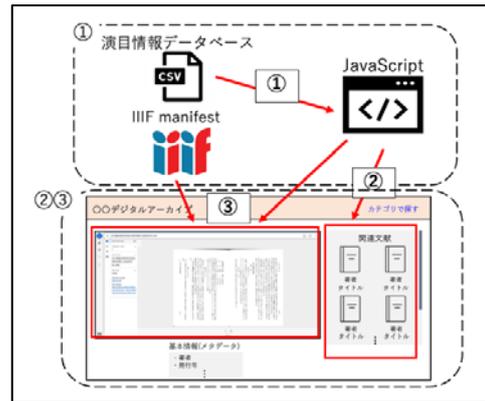


図7：閲覧ページ実装手順

- ① 演目情報データベースを読み込む。
- ② データベースを参照し、IIF ビューワ横に関連文献の一覧を表示する。クリックするとその文献を単体で閲覧することができるのみとし、複数の文献の内容をまとめて閲覧する機能は Mirador の機能のみを用いる。
- ③ Mirador を表示し、IIF manifest をもとに文献と文献の基本情報やアノテーションを表示する。

続いてカテゴリ検索ページでは、以下の流れ(図8)で処理を行う。

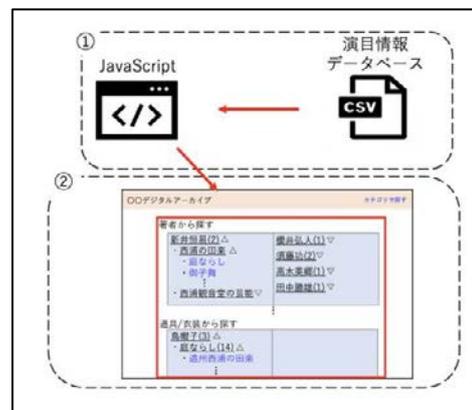


図8：カテゴリ検索ページ処理の流れ

- ① 演目情報データベースを読み込む。

- ② データベースに記述されている著者名と道具/衣装のデータをもとに、アコーディオンメニューによるコンテンツの開閉が可能な一覧表を「著者」「道具/衣装」ごとに作成し、ブラウザに表示する。リンクにはデータベースに記述されている IIIF manifest のリンクを設置する。

### 【実装の現状】

本デジタルアーカイブの実装状況について述べる。トップページ(図9)と文献閲覧ページ(図10)については、実装を行っている段階である。文献については、対応する IIIF manifest の作成を行い、順次データを追加しており、現状、地能の5演目(庭ならし/御子舞/地固め/地固めもどき/つるぎ)については閲覧することができる。



図9：トップページ(実装中)



図10：閲覧ページ(実装中)

## 5. まとめ

本論文では、はじめに民俗芸能における複数年代の資料の重要性について述べ、西浦田楽の演目に関する記述がされている文献で確認されている記述の差異の実例から、本研究にて実装する機能とその必要性について述べた。最後に、本デジタルアーカイブの仕様、設計、実装について述べた。

現在は、実装を進めると同時に、機能の追加として、文献や演目に関する情報の比較・検証支援を促進するために、文献の内容に対してどのよう

なアノテーションを付与するかの検討を行っている。

今後、仕様・設計をもとにデジタルアーカイブの実装とデータの作成を引き続き行っていく。試作を行ったデジタルアーカイブが文献や演目に関する情報の比較・検証支援に有効であったかを調査するため、西浦田楽の関係者・研究者に対してヒアリング調査による評価実験を行う。

## 参考文献

- [1] 秋田県民俗芸能アーカイブス(オンライン), 入手先<<https://www.akita-minzoku-geino.jp/archive/s/ja/>> (参照 2022-10-20).
- [2] 能代市：能代市民俗芸能アーカイブ(オンライン), 入手先<<https://www.city.noshiro.lg.jp/res/minzoku-geinou/20351>> (参照 2022-10-20).
- [3] 無形文化財デジタルアーカイブ もうひとつの京都(オンライン), 入手先<<https://archives.mori-nokyo.jp/index.html>> (参照 2022-10-20).
- [4] 彦坂和里, 杉山岳弘：「西浦田楽」の演目映像デジタルアーカイブ化に向けた検討～演目に関する複数年代の文献調査から見える課題～, 第24回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」発表論文集, pp.3-8(2018).
- [5] 彦坂和里, 杉山岳弘：「西浦田楽」の演目映像デジタルアーカイブ化に向けたメタデータの検討, じんもんこん 2019 論文集, pp.71-76(2019).
- [6] 彦坂和里, 杉山岳弘：「西浦の田楽」で継承される「教え」の映像デジタルアーカイブの構想, 第23回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」発表論文集, pp.3-8(2017).
- [7] Mirador : mirador, Mirador(online), available from <<https://projectmirador.org/index.html>> (accessed 2022-10-20).
- [8] 国立公文書館デジタルコレクション：IIIFに関するヘルプ, 国立公文書館デジタルコレクション(オンライン), 入手先<[https://dl.ndl.go.jp/ja/help\\_iiif.html](https://dl.ndl.go.jp/ja/help_iiif.html)> (参照 2022-10-20).
- [9] IIIF : Presentation API3.0, IIIF(online) available from <<https://iiif.io/api/presentation/3.0/>> (accessed 2022-10-20).
- [10] Dublin Core : Dublin Core Metadata Element set, Version1.1: Reference Description, Dublin Core(online), available from <<https://www.dublincore.org/specifications/dublin-core/dces/>> (accessed 2022-10-20).